

# コロナ倒産 1年で1000件

## 売り上げ戻らず 飲食業 最多182件

東京商工リサーチは二日、新型コロナウイルスに関連した全国の企業倒産件数が累計で千件になったと発表した。昨年二月初確認から一年で大台に達した。外出自粛の広がりや営業時間の短縮要請などで売り上げが回復せず、資金繰りに窮する中小企業が後を絶たない。緊急事態宣言の延長もあり、関連倒産はさらに増える可能性がある。

業種別では飲食業が百八十二件で最も多く、アパレル関連(九十一件)、建設業(八十三件)、ホテル・旅館(六十二件)が続いた。都道府県別で見ると、東京都が二百四十七件で最多。大阪府(九十四件)や神奈川県(五十五件)が続

き、愛知県と兵庫県はいずれも四十六件だった。最も少ないのは山梨県の一件。

負債額一億円未満の倒産が半数超を占めた。倒産企業の従業員数は、判明した九百二十六件の合計で一万三千四百七十七人に上り、雇用面での打撃も大きい。

政府の実質無利子・無担保融資といった公的支援により倒産が抑制されている面があるものの、コロナ禍の長期化で中小・零細企業の経営体力は弱っている。

コロナ関連倒産は昨年九月以降、月百件前後で推移している。